

ひきこもりの若者支援のための 「実践スキルアップ講座」

特定非営利活動法人 南大阪サポートネット
〒589-0011 大阪府大阪狭山市半田 6-1179

助成事業の概要

当事者ひとり一人に焦点をあて、その人に合った
スモールステップを丁寧に積み重ねる機会を作り、
気持ちに寄り添いながらゆっくりと伴走する
「信頼できる第三者」となるスキルアップ講座を
開催した。特に対人援助時に当事者の持つ特性に
対する基礎知識を得るために専門的な知識を学
び、実践へと落とし込む機会とし、当事者への理
解と寄り添いに活かす

テーマ「ひきこもりと医療」講演と学習会

10/15

心療内科 ～医療にかかるには～

11/3

家族の会 医療との関わり方

11/11

望ましくない行動へのアプローチ 条件反射制御
法 ～基礎から「ひきこもり」支援への応用まで
～

12/9

家族と支援者の集い 家庭での医療的不安

1/27

家族と支援者の集い 当事者の体験を聴き支援を
考える

2/3

当事者・家族・支援者の集い 当事者体験を聴き
支援を考える

2/18

二次的障害と家族ができること

3/3

家族・支援者の集い ～つながりを持つために
自分たちにもできること～

事業の成果

今回のひきこもりの若者支援のための「実践スキ
ルアップ講座」を通しての成果は、普段中々身近
に接することがない専門家であるドクターより多
くの知識や情報を直接得ることが出来たことであ
る。講師への依頼段階より、現場で活動してい
る中での疑問点や迷い、また当事者家族からの不安
の声などをまとめてお伝えしたことで、講演の内
容とからめてお話しただけに繋がった。更
に設定している学習会では得た知識を振り返り
ながら、実践の場での実例でケースワークをし
ながらどのように活用していくのが良いのかと
いう視点から深めることにより知識にとどまら
ず、ピアサポーターとして日常の関りに活かして
いける学びとなった。また今回の講演を依頼した
ドクターからは、知識として学習できたことに加
えてひきこもっていることや、伴って苦しい状態
に直面していることに対して温かな視点での見解
も聞け、医療機関と上手に付き合っていけること
は解決への希望に繋がる一つ的手段であると確信
できた。そして振り返り学習の中でもまだまだ現
実の中で出てくる問題点も見えてきたことと、繰
り返し自己研鑽することの必要性も再確認でき
た。

この講座での学びを共有できたことはピアサポ
ートチームをより共感を持ちながら、共に考える寄

り添いを続けるチームとして確立していくことに大いに役に立つものであったといえる。

また講座の受講対象者を「テーマに関心のある方」と設定したことにより、家族で課題を抱えておられる方の参加もあり、各種情報提供や家族会など繋がりのきっかけを作れたことも成果である。さらに今後共に支えあうピアサポーターへの関心を促すことにもなり、必要な学びの講座を通して良い循環に繋がるものと確信する

すこと) で発信材料としても活用することで更なるピアサポーターのすそ野が広がることを目指す。またこの数年の事業成果を通して行政の支援窓口との関係性を深めることで当事者の現状をより理解してもらえるように伝える役割を担いやすく、官民連携の機会を作る。更に近隣の「南河内エリア」(小さな市町村が集まっている) でまずは民間の広域連携を目指し関係性を作る

成果の広報・公表

当法人のイベント「ひきこもり 生きづらさを考える集い 2024」(3月20日開催予定) 内で掲示公表をする。今回の講座・学習会の実施報告や受講者の声を、当団体の発行物や LINE 公式アカウント、ホームページ、フェイスブックなどで順次発信していく。

併せて公民館や図書館、市民活動支援センターなどの市民に開かれた公的機関に配架依頼をして、より多くの人目に留まるようにする。

また行政や社会福祉協議会をはじめ公的な支援窓口や機関には、今回の実施報告をすることで団体の基幹となる活動も併せて広報していく。

今後の展開

今回の講座を通して学んだことを当事者支援・家族支援の現場で実践活用していく。そのためにはケースワークに基づいた研修を定期的に重ねていくことが必要であり、より効果的な学びの機会になるように年間を通して計画的に実施していく。スキルアップ講座の報告書類は当法人の居場所に保管し、必要に応じて閲覧、活用する。特に貴法人の助成を受け開催してきた「ピアサポーター育成に関するシリーズ講座」の受講者有志がスタートさせた、近隣ひきこもり情報マップ作成事業(え